

DIME ALLIANCE

ダイム・アライアンス



Adults only

成年向け

はあ…

はあ…

DIME ALLIANCE

はあ

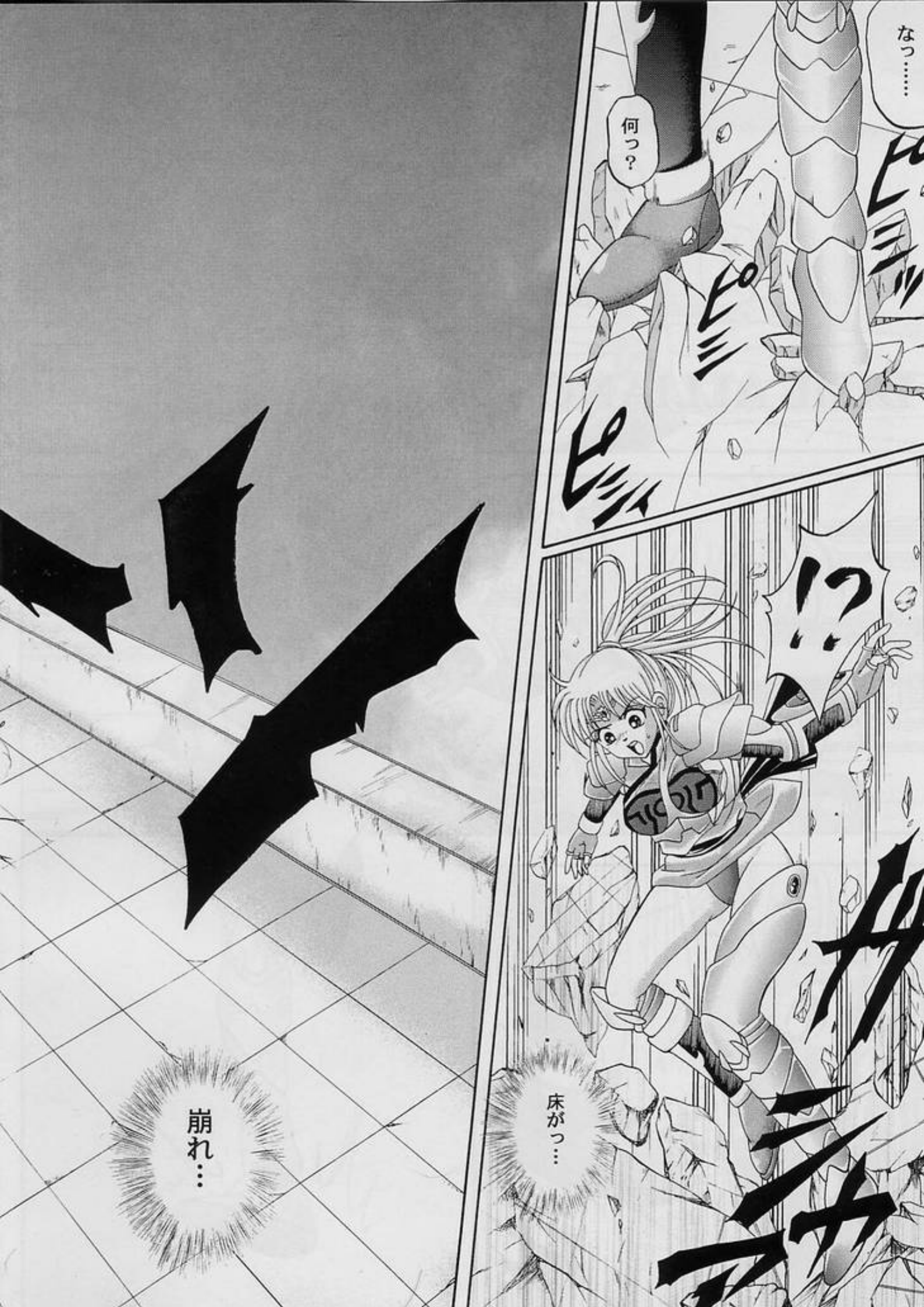
はあ

パインパリスの
通路は一本道？

…っ

このまま進めば
通路が交わる





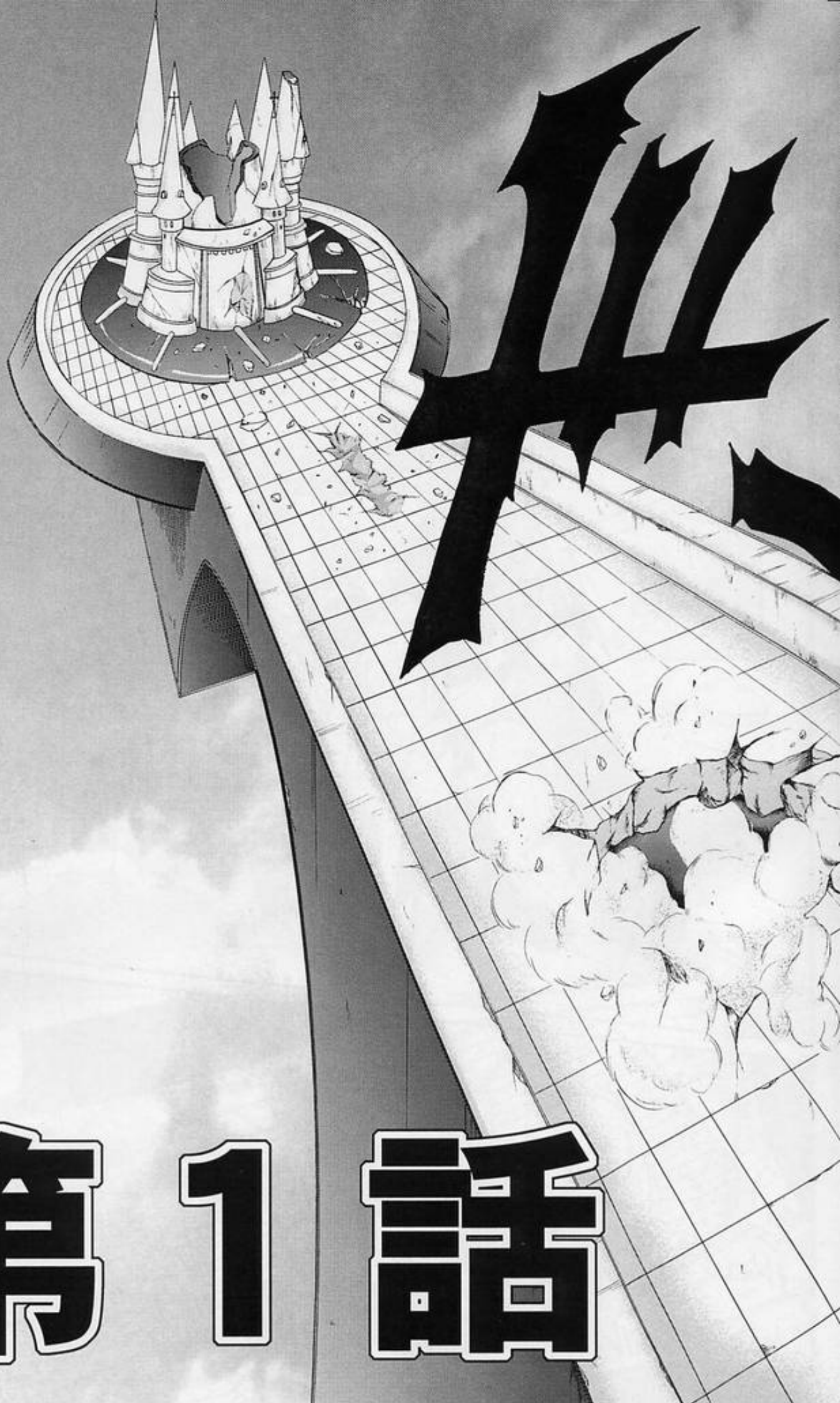
なっ……

何っ？

!?

崩れ…

床がっ…



第 1 話





……
……

と……とにかく

早く上の層に
戻らないと……

ザッ

今は余計なこと
考えてる
時間なんてな……

ケケケケ……



バカめ！

上を仰ぐ前に
背後に気を
使ったらどうだ？

!?



.....
モンスターが
っ!?

かっ...

しまった!



ああっ!?

ケケケ...

これで
お前は

俺のものオ



コイツ……
もしかして私を
待ち伏せていたの？

すごい力……



くっ……

かっ……あ……



フフフ……
ようこそ大魔宮の
隠し部屋へ



ころころあ
ダメじゃないか

ようやく役者が
揃ったんだから
もっと紳士的にいこうよ

あなたは…



キルバーン
死神
!!!

はい

そう
あれもボクの
仕事さ

まっ…床が
崩れるように細工した
だけだからあんなの
畏^{こわ}とは言えないけどね

じゃあ…さつき
床が崩れたのは…

…

フフフ…
これはある意味で
功績だよキミ

??

このボクに
あんなチャチな
仕事をさせたんだから

あっと…失礼…
話しが少し
見えにくいかな

そこで
考えたのさ

いやはや…順を追って
話すよだね

勇者くんや魔法使いの
ボウヤには納得の畏を
用意できたんだけど

とりあえず今回は
いつもの
完璧主義を捨てて

それに対して
いまいちキミに向けた
カードが見当たら
なくなってるね

あ…

ケケ…

魔界にいるボクの
友達にでもひとつ任せて
みようかなってね



しばらくしたら
また見にくるから

それまで彼に
たっぷり可愛がって
もらいたまえ

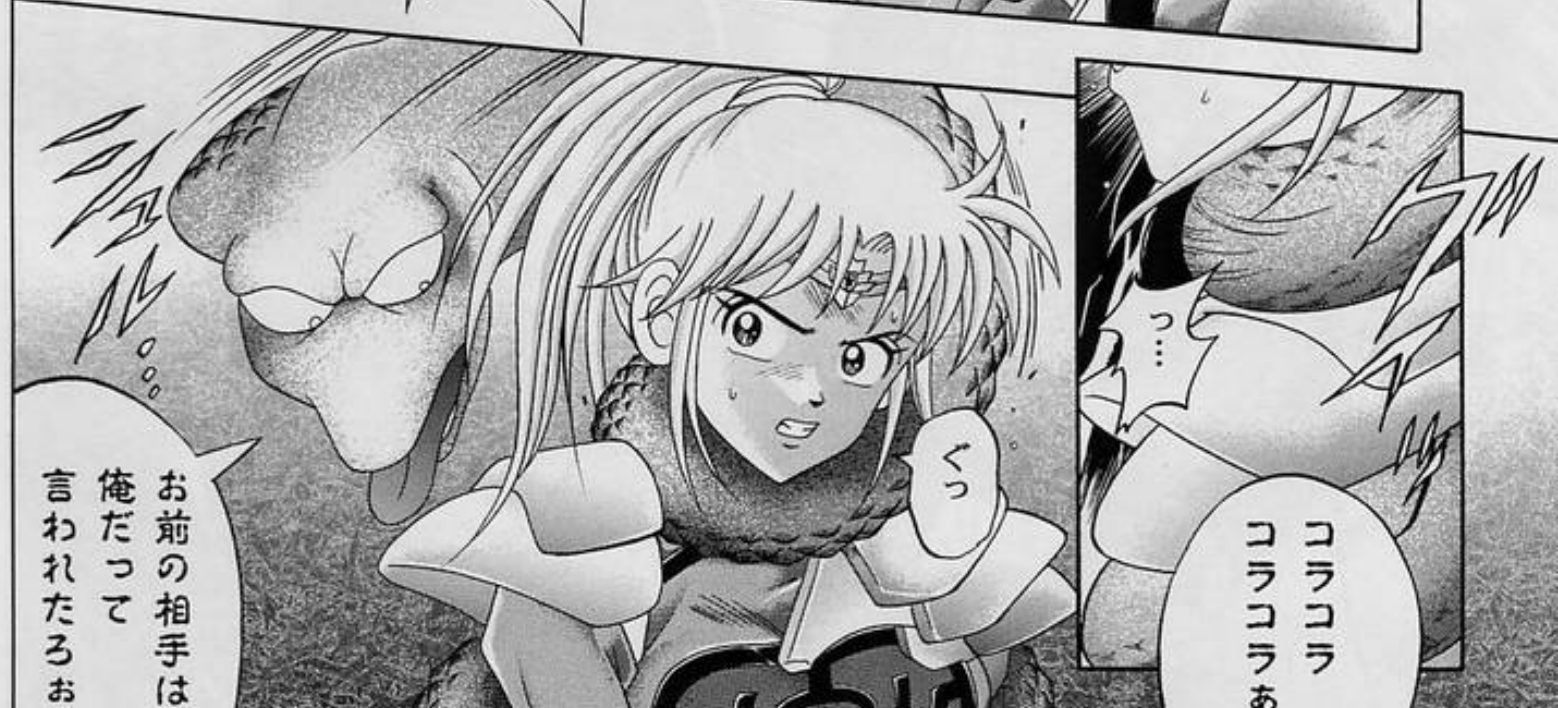
ボクが考えた中で
一番キミに
お似合いの結末…



まっ…

待ちなさいっ

おうっと



お前の相手は
俺だっつて
言われたろお

クワッ
クワッ
クワッ



っ……

冗談
じゃない……

こんなところで

足止め

くらうなんて

いいわ……

そんなに
言うなら
相手になるわよ……



ああああ

っ
!!!

ほお……

まあそこそこな
カじゃないか

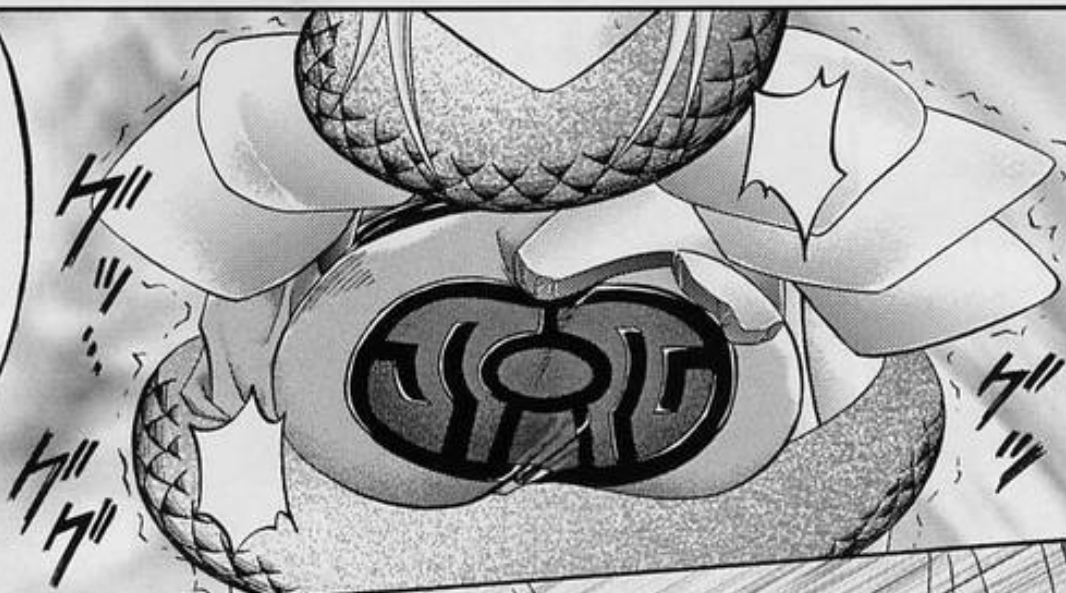
ぐっ……

……ぐっ

んて？
どうなんだ？

まさかお前…

たかがこれぐらいの
力で俺の締め付け
から抜け出せると思
ってんのか？



!?

効いて…
…ない……？



ククク…
残念だったなあ

並のモンスター
相手ならそれで
通じたんだろうが

生糖
俺は…

…っ

あっ…

並じゃない



んはっ！

いいかあ？
力を込めるって
のはなあ…

あ…

ああっ!!

うああああ—
— つっ!?

これぐらいの
ことを
言うんだよ!





見たところ
この鎧も中々の
防御力のようだ

ケケケケ
どうだ？
苦しいか？

かっ…

あ……あ……

俺にとっちゃ
多少硬いって程度だ



まあ
しかし…

う……

あの締め付けくらって
生きているとは
さすが勇者の仲間だな



くっ……

確かに
キルの
言う通りだ

お前のような奴に
「お似合いの結末」
ってやっさ
与えられるのは
俺に違いない

何…なのよ……
その…
結末って……

ケケケケ…

スウウウ

それについては
今から丁寧に
説明してやるよ



何する
つもりなのっ!?

なっ…

何をっ

おっ…

そのまま
股を開いてて
欲しかったんでね
粘着液で固定させて
もらったぞ

っく…

おっお



ぐっ...
...っ

と...
取れないっ

こんな事して
一体...何を...



察しが悪いな
オマエは...

シユル

シユル



だがそれも
また結構



俺の経験から
いくと

.....っ

こういう女ほど
良い反応を見せて
くれるからな

ウッ
ウッ
ウッ

ウッ
ウッ
ウッ



なに...を

ちよっ...



...さっ...
...さっ...
...さっ...

いやあーっ!!



フッフ...
良い融り心地だ

だ...
...め...
...っ

な...何で...

ブルッ

そん...な...
とっ...



痛みなんて
一切ない

んっ
ん
あう！

ど……ど……ど……
んっ……んっ……

ケケ……

俺の卵はなあ……
植えつけた相手から
悪いの遺伝子を奪ってくる
特殊なアイテムのようなもんなのよ

しばらく
アしを寄生させて
おけば

あ……あ……

そいつの身体ん中に
秘められた優秀な
遺伝子を
卵が自動収集……

事が済んだ後は
俺の身体に
もう一度戻し……

ん……ああ……

するとアラ不思議
奪った能力は
全て俺のモノ！
シヘルア……ってわけた

そんな……

ダメッ……

くっ

このまま
だど…

んっ

……ぐ!

コイツにっ

んああ——っ!?

グッ
グッ
グッ

ケケケ…
まあどう
嫌がるなよ

俺の産卵は
人間の女なんか
一生味わえないほど
気持ちいいんだぜえ

ムクなあがき
なんかせずに
ジツとしてりゃ
可愛がってやるよ

ふ、ふさけ
ないで!

誰がモンスター
なんかにつ!

モンスター
なんかだどおおお

ハツ…
笑わせるな!

そのモンスター相手に
ここ濡らしてんのは
誰なんだよ?

あっ!

あめっ…
コラッ…

はっ…あ

この音…
もちろん聞こえて
るよなあ？

グチュグチュ
グチュグチュと…
このいやらしい
音がよお！

んっ…
…あ…

う…う…

マンコからプンパン
メスの臭い出しまくって
いっぱしのプライド
持ってんじゃねえよホケが

気持ちよすぎるから
こっからこんな汁
垂らしてんだろお？

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ズッ

ズッ

ズッ



たっぷり
植えつけてやる

なっ…

いっ…
イヤッ!!



クク…

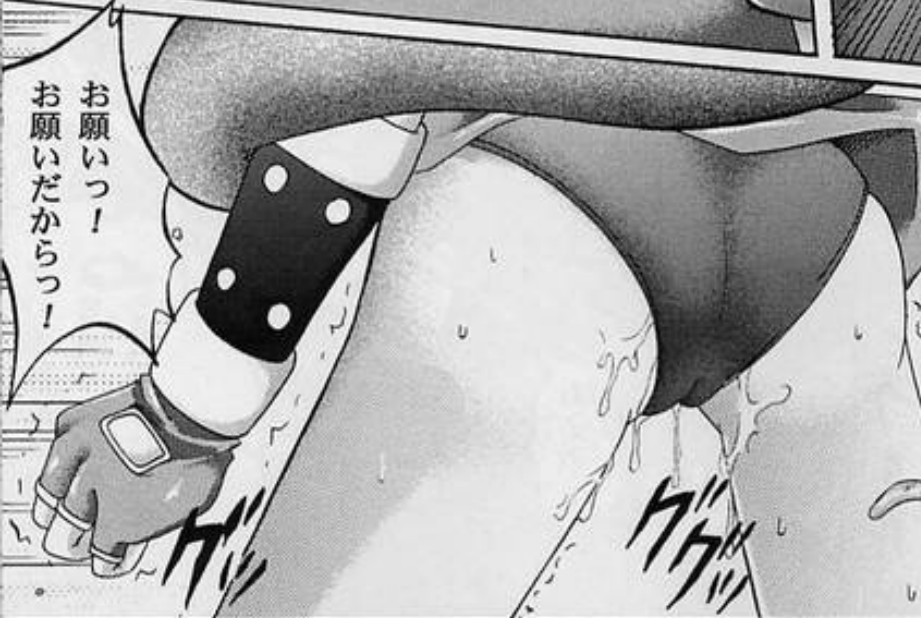


オマエみたいなの
強がる変態女にや
俺の産卵は
もってこいだ



喜べえ…

今日は
いつもより
念入りに



お願いっ!
お願いだからっ!



やめて!

にゅるー



そう
恐れるな…

痛みはないと
言ったろ？

チュポ

ヒッ

あつ…
か…ああ



管の表皮には
身体を火照らせる
油がたっぷり
滲んでいる

ん…あ…

フィル

フィル

フィル

すぐに
刺激が欲しいと
全身疼いてくるさ



ま、むしろ気持ち
よすぎて気が狂わない
よう気をつけるよ…

んあ…

あ…あ…

んぐっ!!

ぬぐあ!?



ケケケ...

い...や...

許...して

ボコ

まずは一個目...
たっぶり味わええ



そっ...
それだけは...
お願い...!

卵なんて...
そんな...の...



!?

そっれ...
入ってくぞ

ボコ

ボコ
ボコ

いちゃあ

つっ!!!

いやあ……!

たっ…
卵が……

ポッ

ポッ

あっ!

ケケケケー
どんどん
送るぞおお

いやああ

っ!!

入ってる…

あああ

っ!!

ダメえつええ

っ!!

ポッ

ポッ

ポッ

モンスターのお
私の身体につ…



アソコを押し込めて
入ってくる感じが
また堪らねえだろお

そんなこと…
ない……

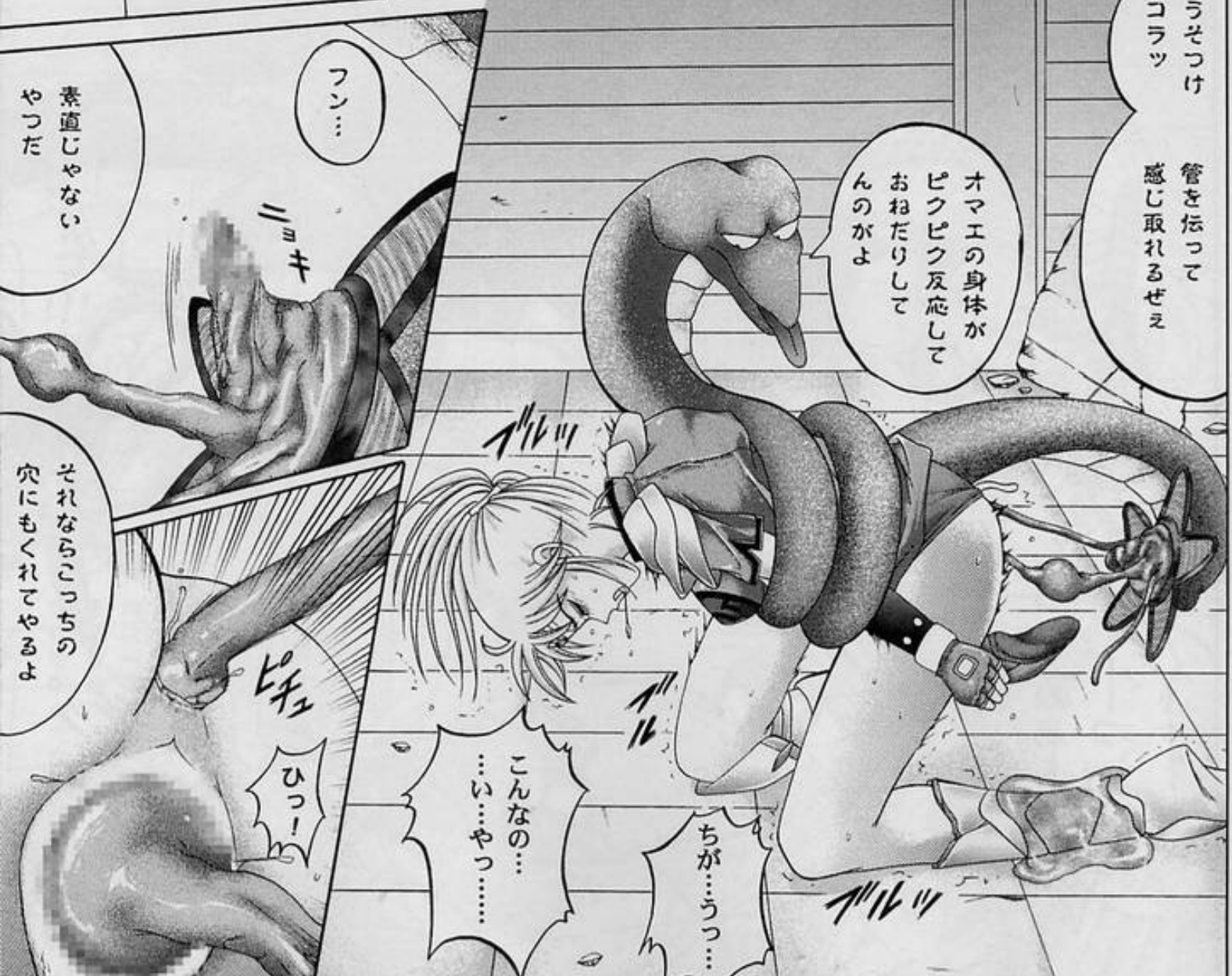
ケケケ…

気持ちいいかあ？

こんな…の……

気持ち…

悪い…だけ…



うそつけ
コラッ

管を伝って
感じ取れるぜえ

オマエの身体が
ピクピク反応して
おねだりして
んのがよ

フン…

素直じゃない
やった

ニョキ

グワッ

グワッ

グワッ

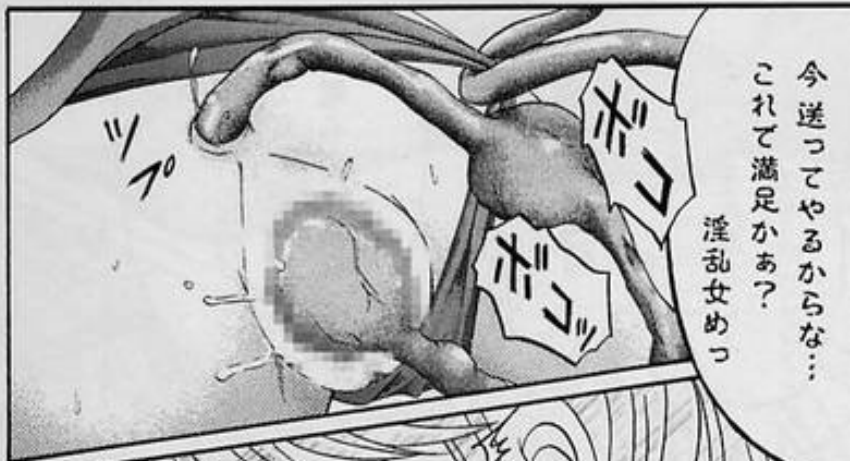
こんなの…
…い…やっ……

ちが…うっ…

ひっ！

それならこっちの
穴にもくれてやるよ

ピキユ



今送ってやるからな...
これで満足かあ?
淫乱女めっ



なっ...!!

まきか
そっち...



あっ.....

かっ...

んっ...ああ...!!!



い……
……ち……

ダメツ!
…あつっ!!

イッ…

んああっ—
っ!!!



ケケケ…
入ってく入ってく

あ……っ

あ…あ…

さすがのオマエも
両穴一氣に突っ込まれたら
素直な目つきに
なりやがったな

だが……

楽しい時間ってのは
そうそう長く
続かないものだ

あ……

ああ……

さっきの話の
続きになるが

まさか忘れちゃ
いないよなあ？
この卵の動きを……

卵の活動はかなりの負担を
宿主に強いるんでね……
オマエはその反動でしばらくの間
気を失うことになるだろう

今に意識がもうろうと
してきて俺の言葉も
耳に届かなくなる

ん……っ

んは……
あ……

ただ……とりあえず
これだけは覚えておけ

目が覚めたとき
オマエの身体にはもう
願いの遺伝子は
残っちゃいない…

気絶してる間に
卵は一つ残らず
回収させてもらうからな

そん…な…

ケケケ… 格闘の才能
そのものが無くなる
ってんだからホントに
同精するぜ

しべルーに退化した拳句
二度と成長できない身体に
なっちまうんだからよお

いいかあ
今後はスライム相手でも
気を緩めんなよおー

何せしべルーだからな

そ…
…ん…な

いさめはは——
っ!!

ケケケケ...

ん...ん

ん...ん





第2話へつづく

第2話

おお…





……ん？
なんだ

目え覚まし
やがったのか

……っ
!?

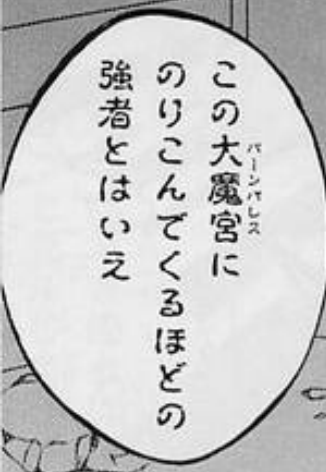


放しなさいっ!!?

なっ……

手をっ





ちっども
怖かねえ

がはあ…
……ツツ!!!

あっ…

かっ…

死なない程度に
手加減して
やったぞ…

ククク…

あつ…か…あ

んあつ…

キ!!

なにせ今のお前は
何の能力もない
ただの人間…

俺様が本気を出せば
ころっと死んじまう身だ

あ…

あああ

っ!!!

力だけ
じゃなくっ…

素早さも

防御も

全てが
カスレベルツ

かほ

そこら辺を
気遣うようにと
ご命令された

ガッ



キルバーン様に

ちったあ
感謝しろよ

グッ



それじゃあ……
始めるとするか

ああ……

はあ……



おうよ

ガッ

ガッ

ガッ

ククク……





はっ…

はなしてっ！

クク…

その様子だと
何をされるか
分かってるようだな

んはっ!?

うおっっ…
濡れたまま放置
しといたからか？

えらくいやらしい
臭いがたまってる
じゃねえか

やめ…っっ

そんなこと
しないでえーっ

おいおい…あのへビ野郎
相手に燃えてた奴が
なに嫌がってんだよ

ち…
違う…

あれは…
無理やり…

ケッ

どうせ無理やりだから
感じたんだろう？

この
変態女めっ

イヤあつ

犯されるのが
そんなに
好きなのか？

うっ…

ハハハッ…
思ったとおりだ
見てみるよ
このテカパイ

乳首ピンピン
立たせてやが



クフ…
乳首だけじゃ
ないぞ

フキッ
あつ…
フキッ

ほれ…
下の口からもどっぷり
垂れてきやがった

グヘヘ…
スゲエなぞりや

やる前からそんなに
濡れてやがんのか



ん——イヤイヤ
うるせえなあ

イヤッ…

いやっ！
やめてっ！



ああ…びちょ
びちょだ

こんだけ溢れてん
なら余計な手入れ
は必要ねえ

ひゅ…

い…や…っ



メス臭え染み付き
パンツでも啜えて
静かに眺めてろ

んっ！

思ってもない事
ペラペラ口に
出すもんじゃね



そおら…
動かすぞ…

んっ!

ニヤ

俺様のチンポで
お前の窟を
かき回してやる

へへへ…

んっ…!

そーれ
それそれ…

んっ

ん…う…

くろ〜ん

中で…
擦れて…

ん…ん…

す…す…

頭がヘンに
なつてく…



んふ…う

オイッ！
なにオメエばかり
楽しんでやがんだよ

んっ…ん

そうだぞ！
さっさと俺にも
犯させるコノ野郎！



んっ



くそっ！



まあ…どう…
慌てんな…よっ…

一発でしたら替わる…
お前ら…それまで…
乳首でもいじってる



んっ
んっ

分かったよ！

んっ！

ダメツ……

んふっ……

んっ……ん

グッ
グッ
グッ

そこ……
ダメツ!

んんん

っっ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

そこ……
弱いっ!

このデカパイ女め……
乳首で相当感じて
やがるな

締めまりが……
急にキツくな……
やがった……

よおおし

それじゃあ
こっちも
激しくいっせ

グ
グ
グ

んっ!

んんんっ!

た~~~~っから
だしっく~~~~
やる

んっ
……ぐっ!

んんん

俺様の熱——い
精液をッ

チュ
チュ
チュ

お前の子宮が
パンパンに
なるまでなあ

んっ

ん……っ

ん……

……っ……

ちりり……
耐えられない……

反持はら……
おせわい……

だめっ……

あつ……

……イッ

こんな……妻いの……

んんん——

っ!!

イッ……

イクッ

んっ……

んっ!!!

イク!

おエツツ

おエウウ……

んふ……!

んっ……ん……



ぬおおおお

んぐぐぐ!

んぐぐぐ...

ん.....

.....ん.....

ん.....

よおし：
次は俺の番だ
さっさとどけ
コノ野郎

んう

ん...う...

分かった分かった
いま引っこ抜く
から...よっ

んあっ...

クソツ...俺はもう
我慢できねえ...
フェラだフェラ!
さっさとパンツはきかせ

あ...

...

...

フフフ...

.....つで
どうです?
この表情...

ついさっきまでアバンの
使徒だったとは思えない
変貌ぶりでしょう

もう完全に別の世界に
イツちゃってますよ

ククク...



哀れな娘だ

よりによって
こやつに目を
つけられるとはな…

END

予定よりも1ヶ月以上も延びたけど、マム本ができてひと安心です。
なんて言ってる暇もなく、レオナ本ががんばらないと夏コミに間に合わない——っ。
締め切りまであと1ヶ月しかないのにー。

今回の本は、顔が一番難しかったです。
前のジャンヌも個性の強い絵柄だったけど、マムはそれ以上でした。

平均的な顔の輪郭を描くとまず似ないし、髪の毛のボリュームも少しでも間違えると違うキャラになっちゃうって感じで超一大変でした。
少しでもマムに似てるなって思ってくれたら幸いです。

夏コミでは、時間があればラングのコピー本なんて出せたらなあーなんて思っているの
でサイクロン寄ってもイイぜなんて人はスペースに遊びに来てください。
三日目 東地区 ク53-b です。

冷泉

ぶひー——…マム本かんせーい♪
でも、仕上がる前から失敗点を発見しまくりで、もうすでに落ち込みモードだったりです（泣）
相変わらず進歩がないというか何というか…。

ただ一つだけ言い訳させて下さい…。
第1話をやってる最中に誰かさんが予期せぬ病気をもってこなければもう少しマシなものが
できたような気がしてならないッス…（-_-;）

あああ…億劫。
「次こそは」の精神で、レオナ本ががんばりますです。

何気に次刊はサイクロン初。マソ男とマソ女が絡ませられるというノリッ。
なんとなーく雰囲気は左のページでお伝えできるかなあと思いますが……。
いやはや、こういうシチュってのも面白いっすよね。
ただガンガンやりまくるーってのじゃなくて、何かこう……ドラマがあるというか（意味不明）

と、とにかくやる気は十分、時間は不十分！
どうか新刊を夏コミに持っていけますように…（お祈り）

ではでは、今回はこれにておさらばです。

和泉

次はレオナ×ダイ本です♪
夏コミ新刊になる予定.....

姫よ、はやく
ダイをイカせな
いと、この瞳を
壊すぞ!!



サイクロン Pシリーズ4

DIME ALLIANCE - ダイム・アライアンス -

2002年6月23日 初版発行

【発行】 サイクロン
【著者】 冷泉 / 和泉知也

【印刷・製本】 株式会社ポプルス様

【連絡先】

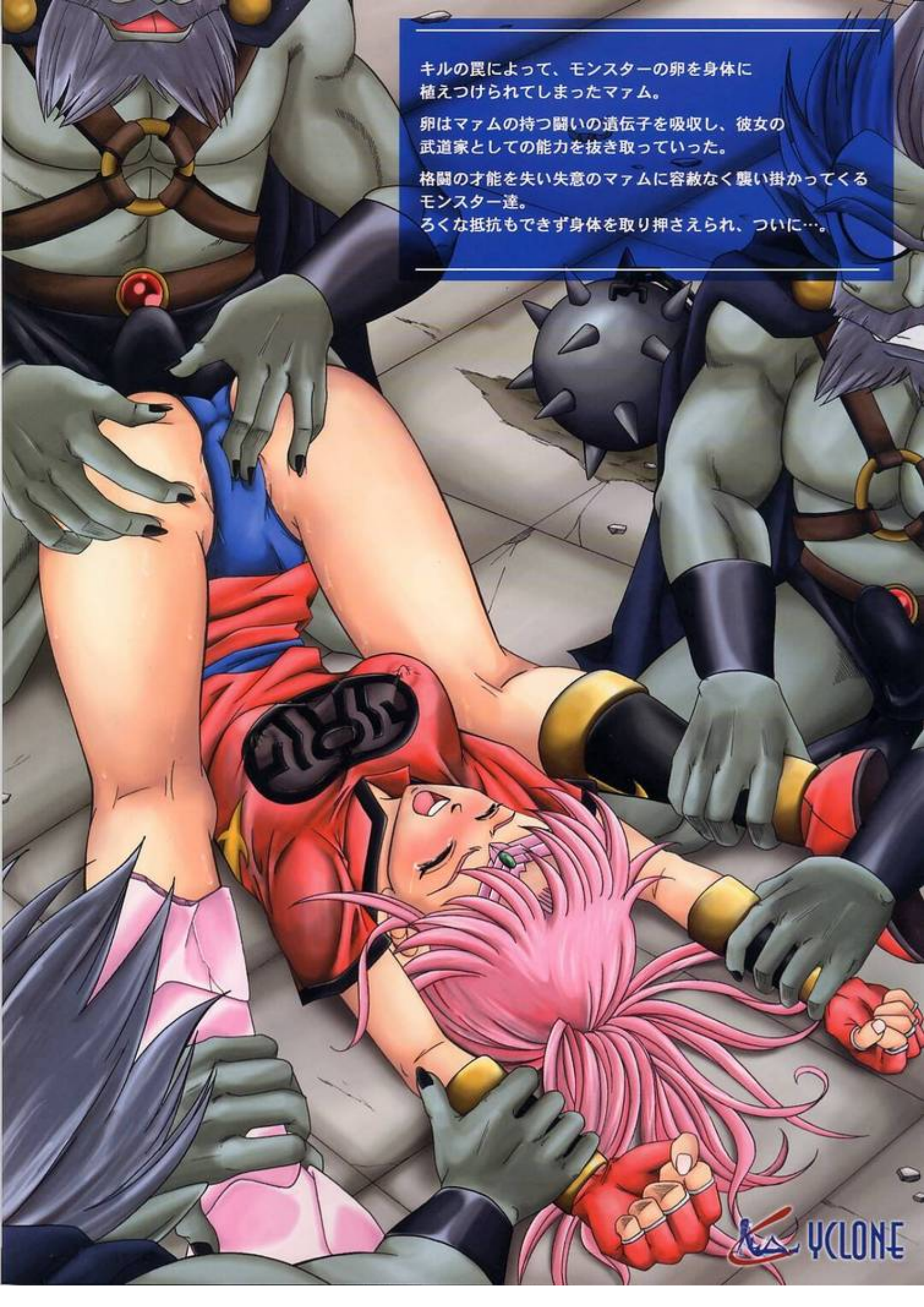
乱丁・落丁の際は、お手数ですが下記サイト内の申請フォームまたはメールをご利用下さいませ

URL → <http://www.cyclone.sakura.ne.jp>
E-mail → webmaster@cyclone.sakura.ne.jp

【注意】

この本を発行した事によって発生する全ての権利は放棄されておりませんが、申し訳ありませんがそれらを侵害するUP板・転載サイトなどへのスキャン画像無断掲載や共有ファイルとしての利用行為はご遠慮下さいませ。

またそれらの行為を発見された場合は、お手数ですが上記連絡先までその旨ご一報頂ければ幸いです。



キルの畏によって、モンスターの卵を身体に
植えつけられてしまったマム。

卵はマムの持つ闘いの遺伝子を吸収し、彼女の
武道家としての能力を抜き取っていった。

格闘の才能を失い失意のマムに容赦なく襲い掛かってくる
モンスター達。

ろくな抵抗もできず身体を取り押さえられ、ついに…。